



臨床腫瘍センターだより

第83号(2016年6月14日発行)

緩和ケアセンターから

患者の苦痛を見つけ出すスクリーニングシート導入の取り組みについて

がん診療連携拠点病院においては、がん患者の苦痛についてスクリーニングを実施することが要件化されました。それを受け、当緩和ケアセンターでは苦痛のスクリーニングを「痛みの質問票」というシートで2015年12月から3病棟で試行を開始しました。これは患者自記式質問紙で痛みを10段階で評価してもらうものです。現段階でのこのスクリーニングシートを用いての支援は、

- 一次支援(各部署での苦痛緩和)16%
- 二次支援(多職種での支援、相談)0%
- 三次支援(緩和ケアチームでの苦痛緩和)7%
- 支援不要、経過観察74%

という結果でした。二次支援から出た相談の「要望を拾い上げる項目が曖昧だった」という意見など、まだまだ問題点はありますが、我々医療チームは患者さんの苦痛を共有し、できるだけ痛みやつらさを緩和できるよう取り組んでいきたいと思っています。緩和ケアセンター GM 丹治 優子

福島県がん診療連携協議会 研修教育部会より

がん診療に携わる「医療従事者のための研修会」

福島県がん診療連携協議会、研修教育会主催の研修会を開催いたします。今回は2月6日のNHKニュース「おはよう日本」等で紹介されたがん患者である医師の取り組みです。詳しくは県のホームページ参照のうえ、メールでの申込、または裏面のFAX申込書をご利用ください。参加は無料ですので、多くの来場をお待ちしております。

→<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045c/iryoku-ganshinryoukensyukai.html>

日 時:平成28年6月25日(土)14:00~15:00
 場 所:会津中央病院 管理棟2階 大会議室
 問い合わせ先:病院経営課 大森まで(024-547-1821)

ごあいさつ



はじめまして、6月から臨床腫瘍センターの緩和ケア相談員として新規採用となりました、三瓶恵美と申します。優しい先輩方に囲まれ、素敵な職場でお仕事をさせていただいております。まだまだ未熟者ですが、患者さんの力になれるように日々勉強しております。

趣味は体を動かすことで、去年はヴァンジージャンプに挑戦しました。**今年は東京マラソンに出ることが目標です!**これからよろしくお願いたします。

※「緩和ケア研修会2016」について、定員間近となっておりますので、まだ申込みされていない方はお早めに!!

2016年5月外来化学療法センター利用状況

| | | | |
|----------|----|------------|-----|
| 血液内科 | 30 | 婦人科 | 24 |
| 消化器内科 | 30 | 小児腫瘍内科 | 3 |
| 肝胆膵・移植外科 | 28 | 泌尿器外科 | 8 |
| 呼吸器外科 | 27 | 皮膚科 | 16 |
| 消化管外科 | 42 | リウマチ・膠原病内科 | 10 |
| 乳腺外科 | 97 | 内分泌・甲状腺外科 | 0 |
| 呼吸器内科 | 57 | その他 | 14 |
| 腫瘍内科 | 14 | 合計 | 400 |

今月の臨床腫瘍セミナー

日 時:平成28年6月21日(火)18:00~19:00
 場 所:11号館 第2臨床講義室
 演 題:免疫チェックポイント阻害剤とCAR-T療法を基軸とした免疫療法の新展開!
 講 師:国立がん研究センター / 先端医療開発センター
 免疫療法開発分野(築地) / 中央病院 先端医療科
 吉村 清 先生

※大学院生は共通必修科目(規定の8)に該当します。

メール兼FAX送信票

宛先：福島県立医科大学附属病院 臨床腫瘍センター 宛

メールアドレス oncology@fmu.ac.jp

FAX 024-547-1089

福島県がん診療連携協議会教育研修部会
がん医療に携わる医療従事者のための研修会

参加申込締切：平成28年6月24日（金）昼12時まで

| | |
|---------|--|
| 機関名 | |
| 所在地 | |
| 電話番号 | |
| FAX | |
| メールアドレス | |

| No | 職名 | 氏名 |
|----|----|----|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |
| 6 | | |
| 7 | | |
| 8 | | |

※ 問い合わせ先：県立医科大学附属病院 病院経営課 大森
電話 024-547-1821